

**令和元年度岐阜県生活習慣病検診等管理指導審議会
乳がん部会 概要**

1 日 時 : 令和元年12月25日(水) 13:30~15:00

2 場 所 : 岐阜県庁12階南会議室

3 出席者 :

	氏名	所属
委 員	山本 悟	岐北厚生病院 名誉院長
	伊在井 みどり	岐阜県医師会 常務理事
	森光 華澄	岐阜大学医学部腫瘍外科
	加藤 統子	東海中央病院医務局 診療放射線技師
	政井 美春	市町村保健活動推進協議会保健師部会(飛騨市)
オブザーバー	小山 貴広	関保健所 所長
事務局	赤尾 典子	保健医療課 健康推進室長
	井上 玲子	主幹兼がん対策係長
	中島 早映	技術主査
	上口 大輝	主事

4 内 容 :

報告 : 1 平成30年度岐阜県生活習慣病検診等管理指導審議会乳がん部会議事

2 岐阜県のがんの現状等

3 がんの予防(乳がん検診)の推進について

(1) 正しいがん検診の実施

- ・がん検診の結果としては、精密検査の要否を受診者に正しく伝えることが一番重要であり、ミスを起こさない仕組みが必要となる。
- ・がん検診の対象は無症状であることが前提だが、検診の機会を奪うのではなく、症状がある者に対し、速やかな医療機関受診を促すことが重要。

(2) がん検診マネジメント

- ・県全体のプロセス指標では全ての項目で許容値を満たしており、各市町村の指標も昨年と比べて改善が認められる。
- ・検診機関別のチェックリスト等調査結果からは精度管理が不十分な機関を認める。県は各検診機関にプロセス指標を還元し、改善に向けた取組みを促していく。
- ・市町村は、要精密検査者の精査結果等について検診機関との情報共有を行い、検診機関の質の担保に取り組んでいく。

(3) がん検診の受診率向上対策

- ・受診率向上対策には行政の努力が必要となる。検診機会を増やすことや、対象者に検診の必要性を伝える等普及啓発の取組みを推進していく。

- ・受診者の掘り起こしのためには、時代に即した方法を積極的に取り入れ、対象者にとって検診を受けやすい環境を整えていくことも必要となる。

⇒上記協議結果について、市町村及び検診機関に周知を行い、精度向上に向けた取組みを促していく。